



松浦常雄議員

Q 次期振興計画策定に 町民の声を

A 町民アンケートを実施する

問 平成23年度から国見町の第5次振興計画が始まるという。次期振興計画の基本理念、町の将来像、政策の柱は何か。

町長 次期振興計画は23年度から10年間の基本計画。振興計画審議会から答申をいただいた基本理念は、「国見町民であることに喜びと誇りを持ち、心を合わせて希望に満ちた未来をつくる町」、将来像は、「心を合わ

せ希望に満ちた豊かで生きがいのある町」である。

問 まちづくりというのは町民が心を一つにして取り組むことが大切だが、町民の声をどう計画に反映させるのか。

町長 昨年11月にまちづくり懇談会を実施して意見・要望を出していただいた。また、町民2000人にアンケートを実施し、計画に生かしていきたい。

要望 第4次振興計画では、多くの事業が先送りとなった。次期計画を失望に終わらないようにぜひ財政的なことも十分視野に入れて検討し、策定していただきたい。

Q 保育所・幼稚園の統合 のため、強力に進める 組織が必要では

A 教育委員会に 幼児教育課を新設する

問 町の幼児教育の見直し計画について伺う。

町長 少子化や小学校の適正配置と併せて、25年度か

ら、0歳から2歳までの家庭で保育ができない子どもを藤田保育所で、3歳から5歳までは、森江野小学校

を幼稚園に改造して、学童保育は藤田幼稚園で実施する計画である。

問 幼児の保育、教育を推進するため、それぞれの管轄を越えて強力に進める組織が必要となると思うが、どのように考えているか。

町長 幼児の保育、教育を一体的に進めるため、組織を一元化し、平成22年度から、現在保健福祉課で担当している、常設の藤田保育所と季節保育所、これらの事務を教育委員会に移し、新たに、幼児教育課を設置する。

Q 児童生徒の 学力調査について

A 独自実施の全国標準 学力テストを活用する

問 全国学力テストは、平成22年度から抽出校のみとなるが、その他の学校はどのようにして学力の実態を

検証するのか。

教育長 抽出校は小坂小学校のみとなるが、現在町独自で実施している、小学校1年生から中学校3年生までを対象にした、全国標準学力テストを活用する考えである。